

2024年12月6日(金)

〒730-8701広島市中区小町4番33号
中国電力株式会社様

【抗議文】 島根原発2号機の再稼働に抗議する

毎日中国5県の電力確保に努力されていますことに敬意を表します。

さて、私たち原水禁府中地区協議会は貴社が島根原発2号機を再稼働すると聞き今日12時から府中市役所前で抗議の座り込みを行いました。

再稼働に反対する理由は次の5点です。

一つは、福島第一原発と同じ沸騰水型原発であること。

二つは、原発敷地から南側2^{キロ}メートルにある宍道断層という活断層の存在であり、この断層の東側6^{キロ}にある鳥取県西部断層とが連続して動く連動の問題点であること。今年1月1日に発生した能登半島地震では、150^{キロ}におよぶ連動が起こり、大きな被害を与えています。能登半島に在る志賀原発を持つ北陸電力は連動の長さを178^{キロ}に拡大すると発表しています。

三つは、島根原発から西側にある三瓶山と東側にある大山の2箇所の火山の危険性が指摘されていること。

四つは、避難計画の問題点です。原発から30^{キロ}に住んでいる住民は島根県と鳥取県を含め約46万人とされています。この数は全国で3番目という多さです。そのうち避難に支援を要する人数は、4万人を超え全国でトップという数字です。

五つは、中国電力の体質です。23年に発覚した関西電力とのカルテル事件、公正取引委員会から707億円の課徴金を命じられた事件をはじめ、データ改ざん、点検漏れ、などなど…繰り返される不祥事は、周辺自治体の首長からも厳しく指摘されています。

10月18日、原子力規制委員会の検討チームは原発事故時の屋内退避の目安を見直す方針案を取りまとめました。そして政府は、能登半島地震などを踏まえ、避難所運営に関する環境に国際基準を反映する方針を固めたとされています。避難所での一人当たりの面積を3.5平方^{メートル}にするとか、トイレの数を増やす等です。

11月16日と23日の両日、島根原発防災訓練が開催されました。訓練が終われば、来年の1月頃には「検証委員会」が開かれるのが通例です。今の中国電力の強引に再稼働を進めようとする姿を見ていると、国や自治体の避難に対する方針が改定されるまでに再稼働を行い、既成事実を作って「逃げ得」を狙っているとしか思えません。よって、島根原発2号機の再稼働に抗議します。

広島県原水禁府中地区協議会 小川敏男